

宇都宮市飲食活性化事業

宇都宮大学 行政学研究室A于一ム
3年 遠藤浩輔 木塚翔子

提案の目的

- ・ 宇都宮市は**餃子**が有名である！

⇒県内外から宇都宮餃子を目当てに観光客が訪れている

- ・ **宇都宮焼きそば、カクテル**...他にも食の魅力がある！

⇒しかし、餃子に比べるとあまり注目されていないことが課題となっている

- ・ 飲食業界はコロナ禍で深刻なダメージを受けた

餃子以外の食の魅力の知名度向上

宇都宮市の飲食店全体を盛り上げる

テーマ（スマート×風土）との関連性

スマート

宇都宮市に直接来なくても宇都宮グルメを堪能できる仕組み

- ・ VR（バーチャルリアリティ）を利用したイベントを開催
- ・ 宇都宮独自の通販サイトを開設する

テーマ（スマート×風土）との関連性

風土

- ・ 風土＝食と定義し、

宇都宮市の飲食業界全体を盛り上げる施策

- ・ 食資源の中でも、今回は餃子はもちろんのこと

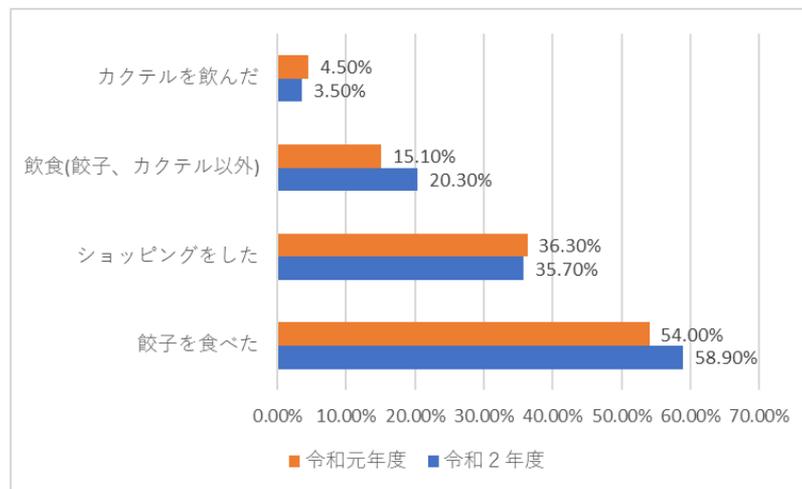
それ以外のグルメ（宇都宮焼きそば、カクテル等）

にも消費者に興味を持ってもらえるようなイベント

現状

＜宇都宮市を訪れた目的＞上位3つ＞※複数回答※令和2年度(令和元年度)

- ・ 餃子を食べた **58.9%**
- ・ ショッピングをした **35.7%**
- ・ 飲食(餃子・カクテル以外) **20.3%** (15.1%)
- ・ カクテルを飲んだ **3.5%** (4.5%)



(引用)令和2年度宇都宮市観光動態調査
図表は引用元のデータを使って作成

現状

<コロナ禍での全国の飲食店の影響>

Q.「コロナウイルスの発生後、店舗の売上に影響はありましたか」

「大きな影響が出ている」 31.0%

「多少の影響が出ている」 20.0% 「今後、多少影響が出そうだ」 20.0%

Q.「コロナウイルス発生後、日本人の来客数に変化はありましたか」

「減少した」 40.6%

※「全国の飲食店へ新型コロナウイルスについての実態調査」
(クズネット株式会社) 令和2年度

<宇都宮市で実施された政策>

- ・ 蔓延防止処等重点処置 (2021年8月8日～8月31日)
- ・ 緊急事態宣言 (2021年8月8日～9月30日)
- ・ 宇都宮市では飲食店への協力金なども過去に6回ほど支給されている

提案

VR（バーチャルリアリティ）ショッピング

- ・バーチャル空間に宇都宮グルメの店舗が立ち並ぶ

「うまいもん通り」のイベントを開催)



伊勢丹新宿本店でのバーチャルショッピングの様子



大丸松坂屋百貨店のバージョンショッピングの様子

VR（バーチャルリアリティ）ショッピング

メリット①

外部の影響を受けにくい

→コロナ禍のように対面イベントが開きにくい状況になっても、VRイベントは開催できる！

VR（バーチャルリアリティ）ショッピング

メリット②

場所や時間の制約がなくなる

→VRはいつでも、どこでもアクセス可能！

VR（バーチャルリアリティ）ショッピング

メリット③

実際のイベントに比べて
費用を抑えられる

提案

餃子と他のグルメを集めた通販サイト

通販に参入していない店舗や個人でやっているオンラインショップを一か所に！

★売り上げ上位になった店舗は...

バーチャル上で行われるグルメイベントの出店権獲得！

<出店予定のグルメ>

- ・ 餃子・宇都宮焼きそば・カブト揚げ・ジェラート
- ・ フルーツサンド ・ 紅茶・カクテル



展望

<効果>

- ・ 様々な宇都宮グルメの知名度が上がる
→ 餃子をきっかけに他のグルメも！



展望

<効果>

- ・コロナ禍でも安心して買い物ができる



